

支店だより

News from branch offices



紀の里の各地域では、季節ごとに地域性を活かした、当地ならではの催し物が開かれています。今月も、各地からの話題をお伝えします。

イチジクのトップセールス開催!

紀の里地域本部は8月21日、主要出荷先である大阪中央青果の果実部現場で、トップセールス「2025年産イチジク販売セミナー」を開催しました。

紀の川市の今城副市長、那賀振興局山田局長、中山地域本部長と「紀の里地域本部いちじく部会」の岡部会長および部会役員が出席し、出荷最盛期を迎える地場産イチジクのPRを行いました。



集まった市場関係者には、イチジクジェラートが配られました。



粉河支店

9-2月期
肥料の直送実施

東営農経済センターでは8月20日～9月4日にかけて肥料の直送を実施し、粉河管内18地区で果樹の元肥や土壌改良剤を中心に約22,300袋の肥料の引き渡しを行いました。

組合員さんは朝早くから引き取りに来られ、トラックから直接積み込み、直送ならではの活気ある景色となりました。直送を利用すると従来の価格より安く購入することができますので予約書の提出、直送のご利用をお勧めします。



那賀支店

那賀ふれあい祭り

8月23日、東部流通センターにて「那賀ふれあい祭り」が盛大に開催されました。当日は地域の皆さんが一堂に会し、子どもから大人まで楽しめる多彩な催しが続り広げられました。地元の特産品販売や模擬店は賑わいを見せ、ステージでは音楽や踊りが披露され、会場全体が活気に包まれました。

また、来場者同士の交流の場ともなり、地域の絆を深める貴重な機会となりました。本祭りは、世代を超えて親しまれる夏の恒例行事として、多くの笑顔と温かな交流を深めました。



桃山
支店

星まつり大盛況

8月31日の16時より桃山支店前駐車場で星まつりが開催されました。昨年は、台風の影響で残念ながら中止となりましたが、今回は快晴の下、規模を拡大して開催することができました。

輪投げ・金魚すくいや屋台コーナーは人気で行列ができ、スコップ三味線の音色が祭り全体を盛り上げました。最後は、盆踊りでフィナーレを迎え、18時30分に笑顔で幕を閉じました。



打田
支店

夏の終わりをを感じるゴーヤ

打田支店では、4月末に植えたゴーヤが、すくすくと成長し実となりました。少しゴーヤについての豆知識ですが、ゴーヤは沖縄の方言らしく、正式名称は「ツルレイシ」といいます。

今年の夏も、猛暑が続く日々でした。少しでも涼しくなれるよう緑のカーテン運動を実施し、今年も効果を感じました。来年も続けていこうと思いますので、ご来店の際は是非、ご覧ください。



岩出
支店

ゴーヤプレゼント

岩出支店の緑のカーテンで育てていたゴーヤがきれいに実り収穫しました。収穫したゴーヤは岩出支店に来店された組合員にプレゼントしました。

今年も暑い日が続き水やりに苦労しましたが、無事にゴーヤが育ってくれて安心しました。来年も緑のカーテンを作り、ゴーヤを育てようと思っていますので岩出支店に立ち寄った際は見て来ていただければと思います。



貴志川
支店

9月1日は防災の日

日本では毎年9月1日を「防災の日」、8月30日～9月5日までを「防災週間」と定めています。1923年9月1日に発生した関東大震災がきっかけとなって制定されました。

貴志川管内では、2年前の台風に伴う大雨により貴志川が氾濫し、大水害となったこともあり、災害に備えるために広報・啓発活動を行いました。台風、大雨、地震など自然災害はいつ起こるか分かりません、少しでも被害を抑えるために、普段から防災バッグや避難経路を確認するなど備えるようにしましょう。

2025.10

最新の農作業情報は
ホームページからご覧になれます

【組合員様専用ページを見るには】

インターネットで以下のアドレスを入力
<https://members.ja-kinosato.or.jp/>

または

JAわかやまホームページ▶組合員様専用ページ

右図と同じユーザー名とパスワードを入力して
ログインしてください。

組合員様専用ページ

aguri

kinosato11

ログインID/パスワードを記憶

ログイン

野菜

ウスイエンドウや秋冬野菜について、
昨今まとまった降雨による湿害が見受け
られます。定植場所が周りより低くなら
ないよう、畝の形状を高く成形した後定
植や播種を行いましう。マルチ被覆の
場合は畝立て後、土壌が湿った状態でマ
ルチを被覆しましょう。本年も気温が高
い日が続くと予想されています。乾燥時
のかん水に留意しましょう。

玉葱

●追肥

本葉が2〜3枚の時に、紀の里六宝有
機化成 5〜10 kg/aを施用し、その後
生育状態により適時、トミー液肥ブラッ

表1. 玉葱の防除例

●除草 定植活着後、雑草発生前の土壌が湿っている状態のとき

薬剤名	倍 数	
フレマートU粒剤	6kg/10a	全面土壌散布
ゴーゴーサン乳剤	400mℓ	
フィールドスターP乳剤	100mℓ	水100リットルに溶かし、全面土壌散布

●防除（育苗床）

病害虫名	薬剤名	倍 数	使用時期 / 使用回数
アザミウマ類、ハスモンヨトウ	ディアナ SC	2500倍	前日/2回
べと病	ランマンフロアブル	2000倍	7日前/4回

●定植時

灰色腐敗病	シグナム WDG	500倍	定植直前5分間苗根部浸漬
-------	----------	------	--------------

※シグナム WDG の溶かし方

タンクに水を張った後、タンクの網を取って、直接タンクにさらさらと振るよう
に入れてください。

表2. いちごの防除例

病害虫名	薬剤名	倍 数	使用時期 / 使用回数	備 考
アブラムシ類	モスピラン顆粒水溶剤	2000倍	前日/2回	蜜蜂1日
	チェス顆粒水和剤	5000倍	前日/3回	蜜蜂1日
	ウララ DF	2000倍	前日/2回	蜜蜂1日
ハスモンヨトウ	グレーシア乳剤	2000倍	前日/2回	蜜蜂1日
	ディアナ SC	2500倍	前日/2回	蜜蜂3〜7日
	トルネードエース DF	2000倍	前日/2回	蜜蜂1日
ハダニ	ダニオーテフロアブル	2000倍	前日/2回	蜜蜂1日
	マイトコーネフロアブル	1000倍	前日/2回	蜜蜂1日
	コロマイト水和剤	2000倍	前日/2回	蜜蜂3日
	ニッソラン水和剤	2000倍	前日/2回	蜜蜂1日
うどんこ病	シグナム WDG	1500〜 2000倍	前日/2回	
	パレード 20フロアブル	2000倍	前日/3回	
	ショウチノスケフロアブル	2000倍	前日/2回	
	トリフミン水和剤	3000倍	前日/5回	

500倍をかん水をかねて施用してください。

●定植時期

10月下旬〜11月上旬

●定植苗の条件

育苗日数は50日前後、苗の大きさは茎
の直径が5 mm程度の中苗で定植してくだ
さい。

●本田施用（10 a当たり）

・土壌改良材

・苦土入りセルカ2号

・B M リンスタ

・元肥

・燐加安44号

60 kg

40 kg

100 kg

●定植時
表1を参考に散布してください。

いちご

定植後、株周りが乾燥しないよう適
宜かん水を行いましう。特にまりひ
めはガク焼けしやすいので注意しま
しょう。

●病害虫防除

ビニール被覆後のうどんこ病発生に注
意してください。またビニール被覆した
状態で定植している場合、早くからダニ
が発生することがあります。防除薬剤に
ついては表2を参照してください。展着
剤としてスカッシュなどを加用してくだ
さい。

●管理（葉かき）

マルチ前の葉かきは極力控え、蕾を目
で確認できてから1〜2枚程度としてく
ださい。

●追肥

芯葉をかき分け花芽を目で確認でき
た頃に、穴肥として紀の里1号配合（ペ
レット）を40〜60 kg/10 a施用してくだ
さい。

ウスイエンドウ

●播種時期

11月中下旬

●種子量

2ℓ/10 a 種子は毎年更新する。

●播種間隔

畝幅140〜150 cm×株間15〜20 cmの1粒播
き（または株間35〜40 cm、1穴2粒播き
も良い）

●施肥（10 a当たり）

●元肥

●堆肥

・苦土入りセルカ2号

・B M リンスタ

・紀の里5号ペレット

（省力施肥（マルチ）の場合）

●元肥

●堆肥

・苦土入りセルカ2号

・B M リンスタ

・ユートップ20号

・硫酸

・ユートップ20号は緩効性肥料のため、

追肥は不要です。

青ネギ

●育苗管理

10月播きは抽苔する恐れがあるので、
播種時期は11月上〜中旬播きがいので
す。秋播きの育苗（8月下〜9月中播
き）では、定植時期になります。

●定植

定植苗の大きさは、草丈20 cmぐらいの
健苗とし、一穴当たりの植え付け本数は

7～8本を直立植えとしてください。定植圃場が乾燥している場合は、1～2日も十分かん水しておいてください。

●病害虫防除
表3を参考に散布してください。

表3. 青ネギの防除例

病害虫名	薬剤名	倍 数	使用時期 / 使用回数
シロイチモジヨトウ	プロフレア SC	2000～4000倍	前日/3回
	グレーシア乳剤	2000～3000倍	7日前/2回
	ディアナ SC	2500～5000倍	前日/2回
	アクセルフロアブル	1000倍	前日/2回
	トルネードエース DF	1000倍	14日前/2回
さび病	パレード 20 フロアブル	2000倍	前日/3回
	シグナム WDG	1500倍	7日前/3回
	オンリーワンフロアブル	1000倍	14日前/3回
べと病	フォリオゴールド	800～1000倍	14日前/3回
	ランマンフロアブル	2000倍	3日前/4回
	シグナム WDG	1500～2000倍	14日前/3回
軟腐病	バリダシン液剤 5	500倍	前日/2回
	スターナ水和剤	2000倍	7日前/3回

白菜・キャベツ・ブロッコリー

定植後、10～15日を目標に1回目の追肥として紀の里化成403を10a当たり80kg施用、また、2回目の追肥は定植後20～25日を目標に紀の里化成403を10a当たり60kg施用してください。

定植後、株元の土壌表面に薬剤がかかるうちに軟腐病の薬剤、菌核病の薬剤を予防散布しましょう。

コナガ・ヨトウムシ類向けの殺虫剤

表4. キャベツ・ハクサイ・ブロッコリーの防除例

病害虫名	薬剤名	倍 数	使用時期 / 使用回数		
			キャベツ	ハクサイ	ブロッコリー
ヨトウムシ、コナガ	プロフレア SC	2000～4000倍	前日/3回	前日/3回	前日/3回
	グレーシア乳剤	2000倍	7日前/2回	7日前/2回	7日前/2回
	ディアナ SC	2500倍	前日/2回	前日/2回	前日/2回
	アクセルフロアブル	1000倍	前日/3回	前日/3回	前日/2回
	トルネードエース DF	2000倍	7日前/2回	7日前/2回	14日前/2回
アブラムシ類	トランスフォームフロアブル	2000倍	前日/3回	3日前/3回	前日/3回
	ウララ DF	2000倍	前日/2回	前日/2回	前日/2回
	モスピラン顆粒水溶液	2000倍	7日前/5回	14日前/3回	14日前/3回
	トレボン乳剤	1000倍	3日前/3回	7日前/3回	前日/3回
	ハチハチ乳剤	1000倍	14日前/2回	14日前/2回	7日前/2回
軟腐病、黒腐病	キノンドーフロアブル	1000倍	14日前/3回	30日前/5回	登録なし
	スターナ水和剤	1000倍	7日前/3回	7日前/3回	2000倍14日前/2回
	バリダシン液剤 5	800倍	7日前/5回	500倍3日前/3回	前日/3回
菌核病	シグナム WDG	1500倍	7日前/2回	7日前/3回	7日前/2回
	パレード 20 フロアブル	2000倍	前日/3回	前日/3回	前日/3回

は、アブラムシ・ハムシに効果がないものも多いので、それらに効果がある殺虫剤も適宜散布しましょう。

特に白菜のアブラムシ類については、11月中旬までは定期的な防除が必要で

す。

表4を参考に散布してください。

柑橘

温州みかん

●樹上選果

今月は、収穫・選果を考えて見直し摘果、樹上選果を実施してください。

摘果する果実は、上向きの大い果実、スソなり・懐の小玉果、緑の薄い果実、病害虫被害果、キズ果、日焼け果などです。また、スソ成りの成り込んだ枝の実は比較的品質の良い果実が生産されますが、日照不足になりやすいため枝つりを行い果実に日が当たるようにしましょう。

●収穫前の薬剤防除

腐敗果防止のために、トップジンM水和剤200倍又はベンレート水和剤400倍を収穫直前に散布してください。また散布後、収穫終了まで期間が空く場合や、降雨が続く場合は再度収穫前防除を行い、高品質果実生産に努めましょう。

●収穫

(表1防除例参照)

早生みかん以降の品種では、樹による着色のバラツキが多い傾向にありますので着色の良い外成り果などを先に収穫し、着色が不十分な果実は樹上に残しておき、後日、着色が進んでから収穫してください。また、収穫時や運搬時の際も果実へできるだけ衝撃を与えないようにしましょう。

収穫後もみかんは呼吸を続けますので出荷までに3%程度の予措が必要で、品質劣化を抑える効果があります。方法はコンテナに7分目程度の量で、予措期間中はコンテナの間隔も数センチ開けて、通気の良い状態で置くようにしましょう。

集荷場に出荷する前に行う家庭選別は、この出荷前予措が終了した段階で行います。その際にも、果実への衝撃は最小限になるように注意し、生キズ果や軸長果を排除し、腐敗果を発生させないようにしましょう。

中晩柑

●枝つり

果実肥大と果汁の蓄積に伴い、枝折れの発生や日照条件の悪化が発生します。枝つりを行って、結果枝や側枝の枝折れを防止し、着色と品質の向上を図りましょう。

●夏秋枝の切除処理

樹勢の旺盛な樹、結実量が少ない樹では、夏から秋にかけ新梢が発生します。夏秋枝を切除処理することで、緑化のための養分の浪費を抑えられ、果実肥大につながるとともに翌春の春芽の発生がよくなります。幼木で樹冠拡大に利用する場合や、次年度の結果母枝として利用する場合以外は切除しましょう。

●秋肥の施用

秋肥は、主に来年の開花から生理落果期までの貯蔵養分を蓄えるために施用します。

また収穫後の樹勢の回復と耐寒性の向上といった柑橘類にとっては重要な肥料となります。豊作・不作に関係なく、遅くとも11月中旬までには施用してください。施用後、降雨がない場合には10mm程度のかん水を行い肥料成分の吸収を促しましょう。(表2施肥例参照)



落葉果樹

●元肥の施用

今月から11月にかけて、落葉果樹類の元肥の施用時期となります。元肥は樹勢の回復、花芽の充実、翌年の初期生育に必要な貯蔵養分を蓄積するための重要な肥料です。

施肥時期が遅れると、施用した肥料が吸収されない場合があるため、遅れないように注意してください。樹勢が弱い樹については基準よりやや早めに施用しましょう。※施用量や時期については、表2を参考にしてください。

表1. 防除例

品目	防除時期	対象病害虫	薬剤名	倍 数	安全使用基準
みかん	収穫直前	貯蔵病害 (青かび病・緑かび病・軸腐病)	トップジン M 水和剤 又は ベンレート水和剤	2000倍	前日 / 5 回
中晩柑				4000倍	みかん前日 / 4 回 中晩柑前日 / 2 回

※ベフラン液剤の登録がなくなる為、11月1日から みかん・中晩柑類で使用しないこと。

表2. 施肥例 (10a当り)

品目	施肥時期	肥料
みかん	河 北 10 月下旬 早生温州	紀の里 3 号配合 160kg
	河 南 11 月上旬 普通温州	紀の里 3 号配合 140kg
不知火・はるみ・清見	10 月下旬	紀の里 2 号配合 80kg
レモン	11 月上旬	紀の里 2 号配合 140kg
ハ 朔	11 月上旬	紀の里 2 号配合 140kg

表1. 品目別防除例

品 目	防除時期	対象病害虫	薬剤名	倍 数	使用基準
キウイフルーツ	収穫前	貯蔵病害 (灰色かび病)	(展着剤)ネオエステリン ストロビードライフロアブル	5000倍 2000倍	— / — 前日 / 3回
梅	休眠期 (落葉後～萌芽前)	コスカシバ キクイムシ	ガットキラー乳剤	100倍	休眠期 / 2回

表2. 品目別施肥例

品 目		使用時期	肥料名	施用量 (10a)
柿(礼肥)	中谷早生・刀根早生	収穫直後	千代田化成549	40kg
	普通平核無・富有柿	10月下旬	又は 未来508	
柿(元肥)	中谷早生・刀根早生	10月下旬	紀の里7号ペレット	120kg
	普通平核無・富有柿	11月上旬		
柿(省力化栽培)	刀根早生・普通平核無	10月下旬～ 11月上旬	かきいち	105kg
いちじく(礼肥)		10月下旬	千代田化成549 又は 未来508	40kg
梨(元肥)		10月下旬	紀の里1号配合	140kg

いちじく

気温の低下により熟期の進みが遅くなりますが、着色にとらわれずに適熟果の収穫に努めてください。礼肥をまだ施用していない場合は、千代田化成549又は未来508を10aあたり40kgを目安に施用してください。

柿

●適期収穫
着色・荷受け基準を厳守し、取り遅れないよう計画的に収穫しましょう。収穫や運搬の際、果実の取り扱いには十分注意して、果梗の長い果実は二度切りを行い、収穫かごにはマットを敷いて、果実に傷がつかないようにしましょう。また、濡れた果実は黒変果の原因となるので、十分乾かしてから出荷してください。

キウイフルーツ

キウイフルーツは、11月から収穫が始まりますので収穫前の貯蔵病害の防除として、ネオエステリン500倍にストロビードライフロアブル2000倍を加用して必ず散布してください。※収穫前防除は、表1を参照してください。収穫時は果実温度が高くなると追熟が進行するため、出来るだけ気温の低い午前中に収穫しましょう。また、果実に生傷や打ち身があると貯蔵中に軟果し、周囲の果実にも軟果が広がる原因となりますので、果実に傷がつかないように取り扱いには十分注意してください。

梅・スモモ

11月～12月は、土壌改良の時期となりますので、10a当たりセルカ又は苦土セラルカ2号を120kg、土壌分析結果により苦土の少ない園ではスーパーマグ60kgを目安に施用してください。

花

例年、10月初旬には最低気温が15℃を下回り、日照時間も短くなります。加温やビニールの張替えの準備をしましょう。また、土壌が乾きにくくなるので、一時の多量なかん水を避けましょう。

ストック

生育が進んでくると茎が曲がらないよう、フラワーネットの引き上げを行ってください。花芽分化期と茎葉伸長期が重なる時期となりますので、乾燥させないよう、適宜かん水を行いましょ。また、シンクイムシやアブラムシ・菌核病の病害虫の発生に注意してください。菌核病は、地際に薬剤がかかるように早めのタイミングでの防除が有効です。表1を参考に散布してください。

葉ぼたん

葉かきは晴天の日に行い、切り口を乾燥させるようにしましょう。害虫の食害跡や摘葉傷より黒腐病が侵入しやすいので、葉かき後は防除を行ってください。古葉を圃場近くに放置すると、べと病発生の原因となりますので、圃場外へ持ち出してください。また、乾燥による石灰欠乏の発生に注意しましょう。表2を参考に散布してください。

しゃくやく

葉の黄化が進み、刈込みの時期となりました。様子を見ながら順次刈込みを行ってください。また、2回目の秋肥時期となりましたので紀の里5号ペレットを40kg/10a施肥しましょう。近年、覆土が浅く株が露出している圃場があります。根が乾燥すると、株が消耗するので覆土を行ってください。(堆肥施用を兼ねて、覆土目安は約5cmとする)葉が黄化した後、株元から茎を刈り取りしてください。また、新根が発生する時期です。1週間以上雨が降らず、土壌が乾燥する場合は適宜かん水を行ってください。

表1. ストックの防除例

病害虫名	薬剤名	倍 数
シンクイムシ	プロフレアSC	2000～3000倍
	ディアナSC	2500倍
	トランスフォームフロアブル	2000倍
アブラムシ	ウララDF	2000倍
	モスピラン顆粒水溶剤	2000倍
	バレード20フロアブル	2000倍
菌核病	ファンタジスタ顆粒水和剤	2000倍
	シグナムWDG	1500倍

表2. 葉ぼたんの防除例

病害虫名	薬剤名	倍 数
ヨトウムシ、コナガ	プロフレアSC	2000～3000倍
	グレース乳剤	2000倍
	アクセルフロアブル	1000倍
	ディアナSC	2500倍
	トルネードエースDF	2000倍
アブラムシ類	トランスフォームフロアブル	2000倍
	ジマンダイゼン水和剤	600倍
黒腐病	バリダシン液剤5	800倍
	スターナ水和剤	1000倍
	キノドンフロアブル	800倍
	カスミンボルドー	1000倍
	コサイド3000	1000倍
	カセット水和剤	1000倍
	シグナムWDG	1500倍
	バフォームCa(2週間間隔で)	1000倍



金融

とっても便利な JAバンクアプリのご案内!!

来店手続きが面倒な「振込・振替」、「税金・各種料金の払込み(ペイジー)」「住所・電話番号変更」等、空いた時間に簡単にお手続きしませんか?

より便利になった「JAバンクアプリ プラス」 ぜひお試しください!!

※お問い合わせは各支店窓口・渉外担当者までお尋ねください。



販売

柿の出荷が最盛期!!



JAわかやま紀の里地域本部の代表品目である「たねなし柿」の出荷がピークに入っています。

紀の里地域本部のたねなし柿は「中谷早生柿」「堀内早生柿」「刀根早生柿」「紀の川柿」など多彩な品種が揃っており、品種リレーが続きます。

特にこの時期に出荷される柿は果肉がしっかりして甘みが増し、一年の中でも最も美味しい旬を迎えております。

柿はそのまま召し上がるのはもちろん、サラダやお菓子作りにも活用できる万能な果実です。また、ビタミンCやカロテンを豊富に含み、健康維持にも役立つ秋の恵みとして親しまれています。

JAわかやまでは、これからも組合員の皆様と共に、安全・安心で新鮮な農産物をお届けしていきます。

営農

紀の里いちご観光農園の定植が完了しました

農業経営事業で取り組んでいるいちご観光農園について報告します。

1月より育苗棟で育てた苗が大きくなり、定植を迎えました。この時期に定植を行うことで適期に収穫ができるため、9月下旬から10月上旬にかけて、スタッフ一丸となって25aの定植を完了しました。

今後は、きめ細かな肥培管理を行い、年明けのいちご農園のオープンに向け運営体制整備や広報活動にも取り組んでいきます。



購買

紀の里地域 不要農薬回収のご案内

紀の里地域では11月に、各営農経済センター・事業所にて不要農薬(期限切れや、用途が無く廃棄する農薬等)の回収を行います。

回収には処理料金がかかり、決済方法は農協口座からの口座振替となります。

持ち込み時は、飛散・漏れの無いようにガムテープやキャップ等でしっかり封をしてください。また、委任状への署名・捺印が必要となりますので、持ち込みの際は印鑑をご持参ください。

内容の詳細については、「紀のわ」折込チラシにて「不要になった廃棄農薬回収について」をご覧ください。か、紀の里地域の各営農経済センター・事業所にお問い合わせください。

はかりの定期検査について

取引や証明に使用する「はかり」は、計量法の規定により2年に1度、県が実施する検査を必ず受ける必要があります。

また、定期検査の日程については、和歌山県ホームページに掲載しております。

※ホームページ内の検索で「はかりの定期検査」と入力してください。

紀の川市の検査実施時期は次年度となります。